

広報

みぶ

2010

11

No.618

城下の浪漫にふれる

主な内容

- 「壬生町民の歌」を歌おう
1000人大合唱参加者募集……………2
- 第6回ファミリー体育祭開催……………4～5

「壬生町民の歌」を歌おう

1, 2, 3 人々大合唱 参加者大募集!

町への思いがCD(かたち)になります

現在、壬生町では来年制定30周年を迎える「壬生町民の歌」を広めるため、30周年記念版CDの作成作業を進めています。

そこで、この節目に町民の皆さんの生の歌声を残すため、「壬生町民の歌」を歌おう1000人大合唱を実施することとなりました。年齢・性別・合唱経験の有無・歌のうまさすべてを問いません。壬生町への思いを「壬生町民の歌」に託し、みんなで歌いましょう!

- 実施日時 12月26日(日) 開場14:00～ 練習・合唱14:30～ (15:30終了予定)
- 会場 壬生中央公民館大ホール
- 募集人数 700人 ※先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- 応募資格 町内在住、在勤、在学の方又は町外在住で壬生町出身の方
- 応募方法 参加を希望される方は、町民の歌を歌おう実行委員会事務局まで電話・FAX・Eメールでお申し込みください。応募様式は特に設けませんが応募に際しては、住所、氏名、電話番号をお伝えください。
- 応募締切 12月10日(金)
- 参加費 無料
- その他 録音した合唱は、「壬生町民の歌」CDに収録します。なお、著作権は壬生町に帰属します。(CDは後日販売いたします)
- 応募・問合せ先 町民の歌を歌おう実行委員会事務局(町総務部企画財政課情報広報係)
☎0282-81-1814 FAX0282-82-8262
Eメールアドレス info@town.mibu.tochigi.jp

壬生町民の歌

昭和57年

壬生町民の歌選定委員会 補作詞
赤木紀子 作詞
大森 忠 作曲

(一)

桜木を
黒川の
古きより
今もなお
誇りたる
川面にうつし
流れゆたかに
栄えし町よ
幾世の歴史
われらの壬生町

(二)

野は広く
夕顔の
幸多き
人の和の
盛りあがる
風はさやかに
花咲き競う
緑の大地
楽園めざし
われらの壬生町

(三)

男体の
大空に
新しく
若人は
羽ばたける
姿やさしく
ひばりは歌い
のびゆく町に
希望に燃えて
われらの壬生町

蘭学通りが大騒ぎ！

～第9回みぶ蘭学通りまつり～

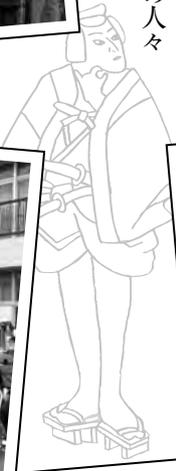
10月17日、「第9回みぶ蘭学通りまつり」が開催されました。

今年、壬生小学校、とおりまち保育園、月かげ幼稚園の子どもたちによる路上論語素読で幕を開け、壬生高書道部による豪快な路上書道パフォーマンスや壬生中吹奏楽部による演奏会も祭りを大いに盛り上げました。

そのほかにも、論語素読体験、メリーランド保育園のエイサー演舞、琴の演奏や野点、和風の展示、壬生寺保育園の円仁太鼓、人力車の運行、エミリー&ラークスや心音のライブステージ、各種ゲームコーナーなど、様々な催しが行われ、秋晴れのもと多くの人々が楽しんでいました。



路上論語素読



壬生中吹奏楽演奏会



路上書道パフォーマンス



沖縄舞踊エイサー



円仁太鼓



エミリー&ラークス

第6回 ファミリー体育祭開催

地域の輪を広げよう

 **優勝** 万町チーム



 **準優勝** 六美町北部チーム



 **第3位** 上表町チーム



総合成績

順位	チーム名	得点
優勝	万町チーム (じゃんけんにより順位決定)	58
準優勝	六美町北部チーム (じゃんけんにより順位決定)	58
第3位	上表町チーム	57
第4位	前宿坪チーム	54
第5位	上新町チーム	53
第6位	上通町チーム (入賞数により順位)	52
第7位	至宝町南チーム (入賞数により順位決定)	52
第8位	東下台チーム	49
第9位	城内チーム	48
第10位	安塚南部チーム	47

10月11日、壬生町総合公園陸上競技場において、3年に一度のスポーツの祭典「第6回壬生町ファミリー体育祭」が開催されました。

天候の影響で一日延期することになりましたが、そのおかげもあり、この日の天気は快晴！！雲一つない青空が広がりました。

会場には、スポーツの秋を楽しもうと57チーム、約3,000人の参加者が集結し、今大会に臨みました。

開会式では、参加者全員で「町民の歌」を合唱した後、優勝カップの返還が行われ、続いて、小菅町長を始め来賓の方々からあいさつをいただきました。次に、スポーツ振興功労者の表彰が行われ、選手宣誓では、上通町チームの塚本一美さんが選手代表を務めました。

いよいよ競技がスタート！午前中は、親子で息を合わせて「お父さんといっしょ」「お母さんがんばって」、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に「タイヤころがしリレー」、二人三脚・百足競争に悪戦苦闘の「メドレーリレー」、勝利を引き込み「綱引き」が行われました。

昼食の時間中には幼稚園・保育園児によるアトラクションがあり、選手や応援の方々を楽しませました。

午後に入り、いくつ入るかな？「紅白玉入れ」、自治会長・来賓による「私はいくつでしょう」、観客の声援を味方に「混合リレー」、最後に「スポーツチャンバラ」が行われました。

各競技で熱戦が繰り広げられた今大会では、なんと2チームが同点で一位に。町長立会いのもと厳選なるじゃんけん五本勝負の結果、優勝が万町チーム、準優勝が六美町北部チーム、第3位が上表町チームとなりました。



名場面集



壬生町健康ふくしまつり

10月24日、町保健福祉センターにおいて「第24回壬生町健康ふくしまつり」が開催されました。

まつりの開会式とともに行われた表彰式では、保健・福祉事業功労者、3歳児よい歯のコンクール及び親と子のよい歯のコンクール入賞者、国民健康保険健康優良家庭、高額寄付者、老人クラブ連合会愛称募集受賞者への表彰状や感謝状が贈られました。

保健福祉センター内では、1階ホールで医師会講演会が開催され「赤ちゃん・子どもたちをタバコの害から守ろう」をテーマに独協医科大学国際教育研究施設教育支援センター准教授西山緑先生の講演会や個別健康相談、ほたるかご作りやクリスマスリースづくりが開催されました。ロビーではヘルスメイトコーナーで人がにぎわい、骨密度測定コーナーには多数の申し込みがありました。2階では、シルバーサークルの作品展示、子育て支援センターの缶バッジコーナーなどにたくさんの方が立ち寄っていました。

当日はあいにくの曇り模様でしたが、屋外では、車椅子体験や救急手当(AED)体験の日赤ボランティアコーナー、健康ウォーク、アトラクションコーナー、

シルバー人材センターによる刃物研ぎや襦袢替え実演、フリーマーケット、縁日体験コーナーや売店コーナーが立ち並びました。ステージタイムでは、ふれあいいきいきサロンのズンドコ体操、ミニコンサート、手話サークルの手話歌、壬生寺内仁太鼓、キャラクターショーなどが行われました。

昨年好評だったチャリティーオークションもステージで行われ、チャリティーオークションとチャリティーフリーマーケットの売上金36,600円と輪投げの収益20,200円は、国内の豪雨災害で被災された方々が一刻も早く幸せな日々を取り戻していただきたいという思いを込めて、社会福祉協議会を通じて寄付されました。

健康ふくしまつり 受賞者 (敬称略)

壬生町長表彰

保健福祉功労者表彰

保健事業功労者

母子保健衛生部門

齊藤 和子

廃棄物部門

株式会社 カスミ

代表取締役社長 石原 俊明

株式会社 新優本店

代表取締役社長 巻島 啓由樹

とちぎコープ生活協同組合

理事長 片桐 雅義

北小林子供会育成会

代表 佐藤 史恵

その他部門

株式会社 アーレスティ栃木

代表取締役 坂元 哲夫

佐藤工業 株式会社

代表取締役 佐藤 豊忠

福祉功労者

障がい者援護功労者部門

浦坂 清 三浦 清子

老人クラブ育成功労者部門

葛 耕一 大塚 榮一

刀川 チイ 中尾 靖一郎

稲葉 道男

ボランティア功労者部門

佐藤 房子 藤井 カツ子

橋田 智恵 村松 保雄

感謝状贈呈

社会福祉推進者部門

人見 イハ 栄松 澄子

安田 豊治 梁島 貞男

その他部門

株式会社 ヤマケ

代表取締役社長 毛塚 安彦

株式会社 篠原商店

代表取締役 篠原 健次

3歳児よい歯のコンクール入賞者表彰

最優秀賞

入江 星名

優秀賞

黒木 葵月

優良賞

糸川 佳良 小杉 茉澁

大島 啓汰

親と子のよい歯のコンクール入賞者表彰

最優秀賞

山口 由季・真緒

優秀賞

藤沼 里美・洸人

国民健康保険健康優良家庭表彰

15年表彰

酒井 正雄

10年表彰

鈴木 晟中 神永 チエ

5年表彰

倉井 善政 小出 雅一

高額寄付者表彰

15万円以上の寄付者

伏木 美佐恵

株式会社エヌ・シー・シー

代表 大金 義夫

下野農業協同組合壬生地区富農経済センター

代表理事組合長 落合 靖

両毛ヤクルト販売株式会社

代表 相馬 稔

墨絵クラブ

代表 富田 泰弘

壬生町老人クラブ連合会

会長 橋本 佐一

栃木県歌謡協会下都賀支部

代表 堤 共榮

壬生町盆栽クラブ

会長 戸崎 一三

(15万円相当以上の物品の寄付者)

壬生町老人クラブ連合会愛称募集受賞者表彰

最優秀賞

作品「いきいき壬雷クラブ」

田中 シン子

優秀賞

作品「壬生夕顔壬雷クラブ」

田中 彩奈

作品「夕顔壬雷クラブ」

田中 シン子

特別賞

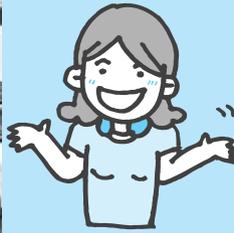
作品「生きいき未来クラブ」

飯塚 サメ

楽しい催しがいっぱい!!



表彰式



医師会講演会

ステージ



オープニングセレモニー
～壬生町民の歌～



オリジナルキャラクターショー



チアリーディングチーム「トレジャーズ」



ミニコンサート「心音」



子育て支援センター☆ひよこ☆発表会



手話サークル「たんぼぼ」



円仁太鼓



チャリティーオークション



壬生町食生活改善推進員



缶バッチをつくってみよう

第4回 壬生町安全・安心なまちづくり

町民大会開催



10月2日、犯罪や交通事故のない、明るく豊かに暮らせる安全で安心なまちづくりを目標として、壬生町・壬生町交通安全協会（平石那次会長）・壬生町防犯組合連絡協議会（鶴田卓哉会長）主催による、「第4回壬生町安全・安心町民大会」が壬生中央公民館で開催されました。

今年8月末の栃木県の刑法犯罪認知件数は、15,563件と昨年度に比べ1,761件減少しました。また、交通においても、交通事故発生件数は6,612件と408件減少しています。

壬生町においては、身近な犯罪の発生状況は8月末現在で107件と、16件減少し、振込み詐欺においては、今年も発生していません。また、交通事故においては、負傷者数が144名と昨年より3名減少しました。

しかしながら、当町で発生している犯罪の内、車上狙いが18件、自転車盗難は34件と依然として多く、交通の面では、事故発生件

壬生町安全・安心町



数が昨年より8件多い118件、さらに3名の死者が出てしまうなど、厳しい状況もあります。

このような中、この大会を契機に安全で安心な地域社会づくりの意識を高め、犯罪や交通事故の抑止に努めるとともに、町民一人ひとりが人命尊重を理念とすることで、明るく住みよい豊かな町づくりを推進することを趣旨として開催されました。

開会宣言後、主催者を代表して小菅一弥町長のあいさつ、来賓あいさつが行なわれ、続いて、交通安全功労者や、交通・防犯ポスター及び作文・安全マップ入選者の表彰が行われました。

その後、壬生北小学校2年・小林凜登君さん、壬生北小学校5年・森田実希さん、南大飼中1年・大根田菜都実さんの3名が交通安全作文の最優秀受賞者として、作文の朗読をしました。

後半では、壬生地区防犯組合連絡協議会による振り込み詐欺の過程を熱演した防犯寸劇「振り込み詐欺防止」が披露されました。大会の最後には、日頃お世話になっている警察官や交通指導員へ児童から花束が贈られました。その他にも、中ホールにおいて、ポスターや作文の展示が行なわれ、振り込み詐欺体験、振り込み詐欺ビデオ、防犯危険予知、防犯紙芝居の各コーナーが設置され、好評を博していました。

交通安全功労者表彰及び感謝状
受賞者 (敬称略)

交通安全功労者表彰

荒川 和子
小野口輝子
亀井 久夫
篠原富太郎
早乙女カツ
田村 正枝
野代さち子
松本 睦子
渡辺 仁
荒川 親雄
金久保正昭
糸川 進
鈴木 芳子
高木 房子
中村 辰夫
日高 和碩
梁島富士夫

感謝状

交通指導員 退職者

今林 正盛
早川 毬子
交通指導員勤続7年
大場 フサ子

交通安全ポスター入選者 (敬称略)

最優秀賞

糸川 愛唯 (壬生北小1年)
小林 千草 (壬生東小2年)
石塚 優里 (壬生小3年)
糸川 美菜 (壬生小4年)
寺内 梨香 (藤井小5年)
南雲 瑞希 (睦小6年)
亀田恵里香 (壬生中1年)
須釜 奈穂 (壬生中2年)
谷黒 杏花 (壬生中3年)

優秀賞

上田 純菜 (壬生北小1年)
鈴木 大輝 (壬生小2年)
寺崎 雄一 (壬生東小2年)
金子 詩月 (壬生東小3年)
篠崎 涼 (稲葉小3年)
明石ひなた (藤井小4年)
辻 風華 (藤井小5年)
落合 真子 (安塚小5年)
吉田 水樹 (壬生小6年)
長岡 愛 (壬生東小6年)
寺内 神悟 (壬生中1年)
小島 晴夏 (壬生中3年)

防犯ポスター入選者 (敬称略)

最優秀賞

富居 菜月 (稲葉小2年)
早乙女葉来 (羽生田小4年)
糸川 侑輝 (壬生東小5年)
伊藤 彩貴 (安塚小6年)
神永 朋佳 (壬生中3年)

優秀賞

石川 眞俊 (藤井小1年)
木野内彩音 (羽生田小3年)
糸川 怜華 (稲葉小4年)
村上 萌望 (壬生東小5年)
小野口 奨 (稲葉小6年)
小林 久乃 (壬生中1年)

交通安全作文入選者 (敬称略)

最優秀賞

小林 凜音 (壬生北小2年)
森田 実希 (壬生北小5年)
大根田菜都実 (南犬飼中1年)



優秀賞

只限 友菜 (壬生小4年)
余沢 美陽 (壬生小5年)
清水 麻衣 (壬生中2年)
遠山 真央 (壬生中3年)

安マツプ入選者 (敬称略)

最優秀者

天間 陽菜 (壬生北小1年)
黒須 愛莉 (壬生北小2年)
羽鳥 太規 (壬生東小3年)
森田 実希 (壬生北小5年)
谷口 創一 (睦小6年)



優秀賞

田中 侑奈 (壬生東小2年)
早乙女結莉 (稲葉小3年)
梁島恵里伽 (稲葉小3年)
黒須 彩夏 (壬生北小4年)
鈴木 綺乃 (壬生小5年)
日野原未来 (壬生小6年)
野口 雅登 (壬生東小6年)



11月は「ねんきん月間」です！

国民年金の加入について

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入することになります。加入者は、職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。

第1号被保険者

自営業者、学生、フリーター、無職の方などが加入し、加入手続きはご自身で役場町民生活課又は稲葉・南犬飼出張所窓口で行います。

第2号被保険者

会社員や公務員など、厚生年金保険や共済組合に加入されている方で、加入手続きは勤務先が行います。

第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者の方で、加入手続きは第2号被保険者の勤務先を経由して行います。



国民年金のメリット

メリット1 老後を支える終身保障

国民年金の老齢基礎年金は、2分の1（平成21年3月分までは3分の1）が国庫負担（税金）で賄われているため、支払った保険料を上回る給付を受けることができる計算となっています。

国民年金は、一生涯の保障であり、老後生活をサポートします。

メリット2 ケガや病気、万が一のときにもサポートします

国民年金は老後の保障だけでなく、加入者がケガや病気により障害が残ったときは「障害基礎年金」、亡くなられたときにはその遺族に「遺族基礎年金」が支給されるなどあなたの生活をサポートします。

メリット3 納めた保険料は社会保険料控除の対象

納めた保険料は、確定申告の際に全額が「社会保険料控除」として認められています。

メリット4 国民年金は経済の変動にも負けません

賃金や物価の変動にあわせて、年金を支える力と給付のバランスをとる仕組みにより年金額が改定されるため、年金に加入（20歳）してから年金を受給（65歳）するまでの間、経済社会が大きく変動したとしても、年金の価値が保障されます。

平成22年度 国民年金保険料月額 (15,100円)

納付方法	★現金納付（納付書により）……………金融機関・郵便局・コンビニ 毎月・6ヶ月前納・1年前納等
	★口座振替納付……………事前に登録が必要です。 翌月末・毎月月末（50円の割引あり）・6ヶ月前納・1年前納
	★クレジットカード納付……………事前に登録が必要です。 毎月・6ヶ月前納・1年前納

※前納すると割引がありますが、口座振替による割引が最もお得です。

※将来の年金を増やしたい方には、保険料の他に付加保険料月額400円を納付する制度があります。受給額は納付月数×200円で、受給は65歳からの老齢基礎年金と合わせて開始となります。ただし、国民年金基金の加入者や免除該当の方は、加入できません。



国民年金保険料を未納のままにすると、将来の老齢年金や障害・遺族年金の受給ができなくなる場合がありますので、保険料を納めるか納付が困難な場合には免除・猶予等の申請をしましょう。

国民年金は、3つの基礎年金(老齢・障害・遺族)であなたの一生をサポートします。

平成22年度の年金額は、次のとおりです。

●老齢基礎年金

国民年金保険料を納めた期間が20歳から60歳まで40年間納付した時、65歳から受けられる年金額(792,100円)です。受給資格期間は最低25年(300月)の納付か免除等が必要となりますが、納付月数による次のような計算式()は平成21年3月までとなります。

$$\text{受給額} = 792,100\text{円} \times \frac{\text{保険料納付月数} + \text{全額免除月数} \times \frac{4}{8} \left(\frac{2}{6}\right) + \text{半額免除月数} \times \frac{6}{8} \left(\frac{4}{6}\right) + \frac{1}{4} \text{免除月数} \times \frac{7}{8} \left(\frac{5}{6}\right) + \frac{3}{4} \text{免除月数} \times \frac{5}{8} \left(\frac{3}{6}\right)}{40\text{年} \times 12\text{月} (480\text{月})}$$

●障害基礎年金

国民年金の加入中(又は老齢基礎年金を受けていない60歳以上65歳未満で国内在住中)や20歳前の病気やケガで一定の障がい状態になってしまった場合に、生活を保障するために障害基礎年金が支給されます。年金加入中の受給要件には、初診日のある月の前々月までの納付等が必要です。生計を維持されている子がいる場合には、子の数に応じて加算があります。

受給額 1級の障害 990,100円 2級の障害 792,100円

●遺族基礎年金

国民年金の加入中の方や老齢基礎年金の受給資格を満たした方が亡くなった時、その方に生計を維持されていた子のいる妻または子が受ける年金です。子がいることが必要で、子の数に応じた額の遺族基礎年金が受給できます。

受給額 妻と子1人の場合 1,020,000円 子(1人)のみの場合 792,100円

◎子とは、18歳到達年度の末日までの子、または20歳未満で障害の状態が1級・2級の子

●寡婦年金

第1号被保険者として、保険料を納めた期間と免除期間の合計が25年以上ある夫が死亡した場合、夫の死亡当時、夫に生計を維持され、かつ、婚姻関係が10年以上継続していた妻に60歳から65歳までの間支給されます。

※死亡した夫が老齢または障害基礎年金の支給を受けていた場合は支給されません。

受給額 夫が受け取れるはずであった老齢基礎年金の3/4

●死亡一時金

第1号被保険者として保険料を納めた期間が3年以上あり、かつ、老齢・障害基礎年金を受けずに死亡した場合、遺族基礎年金を受けられない遺族に支給されます。

※寡婦年金を支給できる場合は、どちらか一方の選択となります。

受給額	保険料納付済期間	金額	保険料納付済期間	金額
	3年以上15年未満	120,000円	25年以上30年未満	220,000円
	15年以上20年未満	145,000円	30年以上35年未満	270,000円
	20年以上25年未満	170,000円	35年以上	320,000円

※半額免除期間の月数は、保険料納付月数の1/2で、4分の1免除は、保険料納付月数の3/4で、4分の3免除は、保険料納付月数の1/4で計算されます。

※付加保険料納付済期間が3年以上ある場合は、8,500円が加算されます。



問合せ先

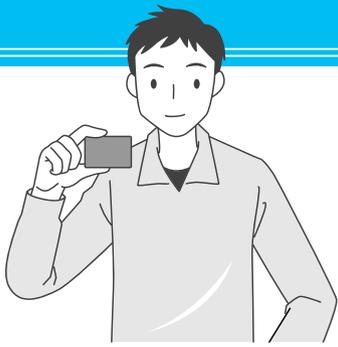
●栃木年金事務所国民年金課

☎22-6074

お客様相談室☎22-4134

●町民生部保険環境課国民年金係

☎81-1827



便利で安全！身分証明書には 住基カードが最適です



顔写真付きの身分証明書をお持ちでない方（運転免許証をお持ちでない方や、高齢等により運転免許証を返納した方など）は、役場窓口での住民票や戸籍謄（抄）本の請求や、銀行等での口座開設や現金振込みの際に本人確認ができないためにご不便が生じております。このような場合『写真付きの住基カード』は身分証明書として公的に認められており、お持ちになると大変便利です。

壬生町に住民登録のある方であれば、どなたでも役場町民生活課でお取りいただけますので、ぜひご利用ください。



…………住基カードの交付申請については、下記のとおりです。…………

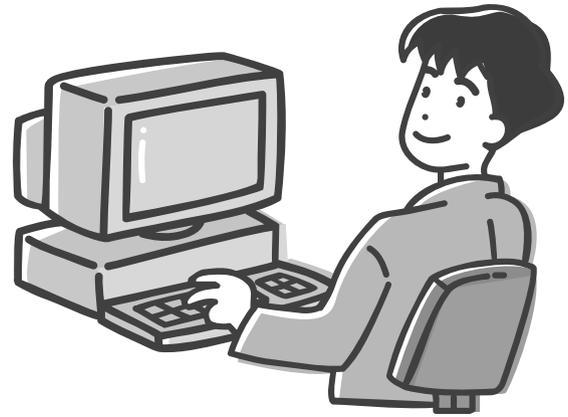
受付時間	月曜日～金曜日（祝祭日、12月29日～1月3日を除く）の午前9時～午後4時30分 ※手続きに30分ほど時間がかかります。
受付場所	壬生町役場 民生部 町民生活課
交付手数料	500円
カードの有効期限	発行日より10年間（町外へ転出した場合を除く）
申請に必要なもの	印鑑、本人確認書類

- ※受付窓口でも写真撮影できますが、ご自身で写真をお持ちいただく場合はパスポート用の写真（45cm×35cm）で6ヶ月以内に撮影した正面・無帽・無背景のものをご用意ください。
- ※カードの交付は、本人確認書類（運転免許証・パスポート等官公署が発行した顔写真付き身分証明書）をお持ちの方は、当日交付されます。なお、お申し込み者数によってはしばらくお待ちいただく場合や、後日受け取りに来ていただく場合もあります。
- ※本人確認書類のない方は、ご本人に「照会書」を郵送しますので、必要事項を記入のうえ照会・回答書と健康保険証等を持参していただいでから交付されます。
- ※原則本人の申請となります。本人以外の方から申請する場合は、申請方法が異なるほか、お受けできない場合もありますので、詳細につきましては、下記までお問い合わせください。



公的個人認証サービスに伴う 電子証明書を 発行しております

公的個人認証サービスとは、本人であることを証明する電子証明書を住民基本台帳カード内に記録することにより、インターネットを使った電子申請や届出を行う際に、他人による「なりすまし」や通信途中での申請内容の「改ざん」などを防ぐためのサービスです。



..... 申請については、下記のとおりです。

申請できる方	壬生町に住民登録をしている方（15歳以上）
申請に必要なもの	○住民基本台帳カード ○本人確認書類（運転免許証・パスポート等官公署が発行した顔写真付き身分証明書）有効期限切れのもの、住所や氏名が未変更の免許証など申請書の内容と異なるものは本人確認書類として使えません。
有効期限	発行日より3年間（内容変更があった場合を除く）
手数料	500円
受付場所	壬生町役場 民生部 町民生活課
受付時間	月曜日～金曜日（祝祭日、12月29日～1月3日を除く）の午前9時～午後4時30分 ※手続きに30分ほど時間がかかります。
その他	電子証明書を使用するには、インターネットの利用可能なパソコンとICカードリーダーが必要になります。 代理人が申請する場合は、提出書類等申請方法が異なりますので、詳細につきましては、お問い合わせください。

※電子証明書を取得することにより、e-Tax（国税電子申告・納税システム）を利用することができます。e-Taxについての詳細は、国税庁のホームページをご覧ください。
国税庁ホームページアドレス <http://www.e-tax.nta.go.jp>

児童養育家庭への

助成制度のご案内

次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、養育家庭への支援として、子ども手当、遺児手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の制度があります。

該当する方は、町民生部健康福祉課で、随時受け付けていますので、申請してください。

(受付は、土、日、祝日を除く、午前8時30分～午後5時15分まで)

子ども手当

子ども手当は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する制度で、中学校終了までの子どもを養育している方に支給されます。

転入や出生等により支給資格が生じた場合は、忘れずに町健康福祉課(公務員の場合は勤務先)に「認定請求書」を提出してください。

●手当月額

1か月につき、子ども1人当たり
13,000円

●支給月

6月、10月、2月(※支給月の前月分までをまとめてお振込みいたします。)

子ども手当の受給者は、毎年6月



に「現況届」を提出する必要があります。この届は、6月1日における状況を記載し、子ども手当を引き続き支給する要件を満たしているかどうかを確認するためのものです。この届の提出がないと、6月分以降の子ども手当が受けられなくなりますので、ご注意ください。

問合せ先

各種手当の請求方法や対象児童、所得制限など、詳しくは、町民生部健康福祉課児童福祉係(☎81-1829・1831)へお問い合わせください。

遺児手当

遺児手当は、父母の一方または両親が死亡した児童(義務教育修了前)を養育する方に支給します。

ただし、町民税の所得割を課せられない場合だけに受けられます。

●手当月額

児童1人あたり 3,000円

●支給月

6月、9月、12月、3月

児童扶養手当

児童扶養手当は、父母の離婚などでひとり親になった家庭や、父又は母に重度の障がいがある家庭などの児童を監護している親、又は親に代わって児童を養育している方に支給されます。

支給対象児童の年齢は、18歳到達の年度末(重度の障がいのある児童は満20歳)までです。

所得によって、一部支給停止、または全額支給停止の場合があります。



●手当月額(全額支給の場合)

児童1人 41,720円

児童2人 46,720円

児童3人以上 3,000円加算

●支給月

4月、8月、12月

特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、精神・知的障がい、または身体障がい(1級・2級)のある児童(20歳未満)を養育する方に支給されます。

ただし、一定の所得額以下の場合に限られます。

●手当月額(1人あたり)

1級該当 50,750円

2級該当 33,800円

●支給月

4月、8月、11月

※平成22年8月1日から、父子家庭のみならずにも児童扶養手当が支給されることになりました! 受給するためには、申請(認定請求)が必要となります。申請の翌月分からの支給となりますが、平成22年11月30日までに手続きすれば、8月分からの支給となりますので、忘れずに手続きをしてください。

あなたの税が未来を拓く

市町村税徴収強化月間2010冬

◆全県下一斉の取組

納税の公平と税収の確保を図るため、年末の11～12月を「市町村税徴収強化月間」として、栃木県との協働により、全県下一斉に徴収の強化に取り組みます。

◆三位一体改革と税源移譲

平成19年度から三位一体の改革により国からの補助や負担金が削減され、その分が住民税（地方税）に移し替えられました。しかし、財源ではなく税源の移譲なので、住民税の収入率が低いと、壬生町の歳入は少なくなってしまいます。（※住民税が増えた分、所得税は減っています）

このことは、壬生町の予算に占める市町村税の割合が、大きくなったことを意味しています。税収が確保できない場合、予定していた事業が行えなくなったり、必要な住民サービスの提供に支障をきたすことになります。

◆一人ひとりが壬生町を支える

これからは、町民の皆さん一人ひとりが、これまで以上に重要な役割を担うことになります。国ではなく、納税者である皆さんが自分たちの町を支えていくことになるのです。

◆自主的な納付

壬生町は、自主的な納税を期待しています。期限を過ぎても納付がない場合は財産の滞納処分（差押・公売など）をしなければなりません。差押財産の調査のため、滞納者の住居や事業所の搜索、自動車差押のためのタイヤロック（写真）をすることもあります。滞納処分をしなくてもよいように、皆さんの自主的な納税をお願いします。



タイヤロックされた自動車

【壬生町では税収確保に向け、次のような取組みを行っています】

- 納税相談** 市町村税を納期限内に納めることが困難な方の相談を受け付けています。
- 納税催告** 納期限を過ぎても納付がない方に対し、督促状・催告書等の送付、電話催告、自宅訪問、勤務先訪問を行います。
- 財産調査** 滞納者の財産について、官公署、金融機関、保険会社、通信機関等に対し調査を行います。
- 給与調査** 滞納者の給与を差押するため、勤務先に対し給与の調査を行います。
- 差押処分** 不動産・預貯金や生命保険、給与のほか、自動車などの差押を行います。差押後も納付されない場合、差押財産の公売・取立を行います。

栃木県地方税滞納整理推進機構
壬生町役場総務部税務課収税係
問合わせ先 税務課収税係 ☎81-1816

家庭で 不要になったパソコンは メーカーに直接回収を申し込みましょう



家庭での使用済パソコンを有益な資源として、再利用するために、平成15年10月1日から「資源有効利用促進法」にもとづいた“PCリサイクル”が実施されております。

この“PCリサイクル”により、鉄・銅・アルミ・プラスチックはもちろん、金・銀・コバルトのような希少金属まで、資源として再利用できます。この“PCリサイクル”は消費者の皆様とメーカー等が協力して次のように実施しています。

“PCリサイクル”の対象となる機器は、下記の通りです。

- ① デスクトップパソコン
- ② ノートパソコン
- ③ CRTディスプレイ（一体型パソコン含む）
- ④ 液晶ディスプレイ（一体型パソコン含む）

- ※1 ご購入時の標準添付品（マウス、キーボード、ケーブル等）も一緒に回収します。
- ※2 マニュアル、FD・CD-ROM等の記憶媒体、プリンタ等の周辺機器、ワープロ専用機、PDA（携帯情報端末は対象となりません）。

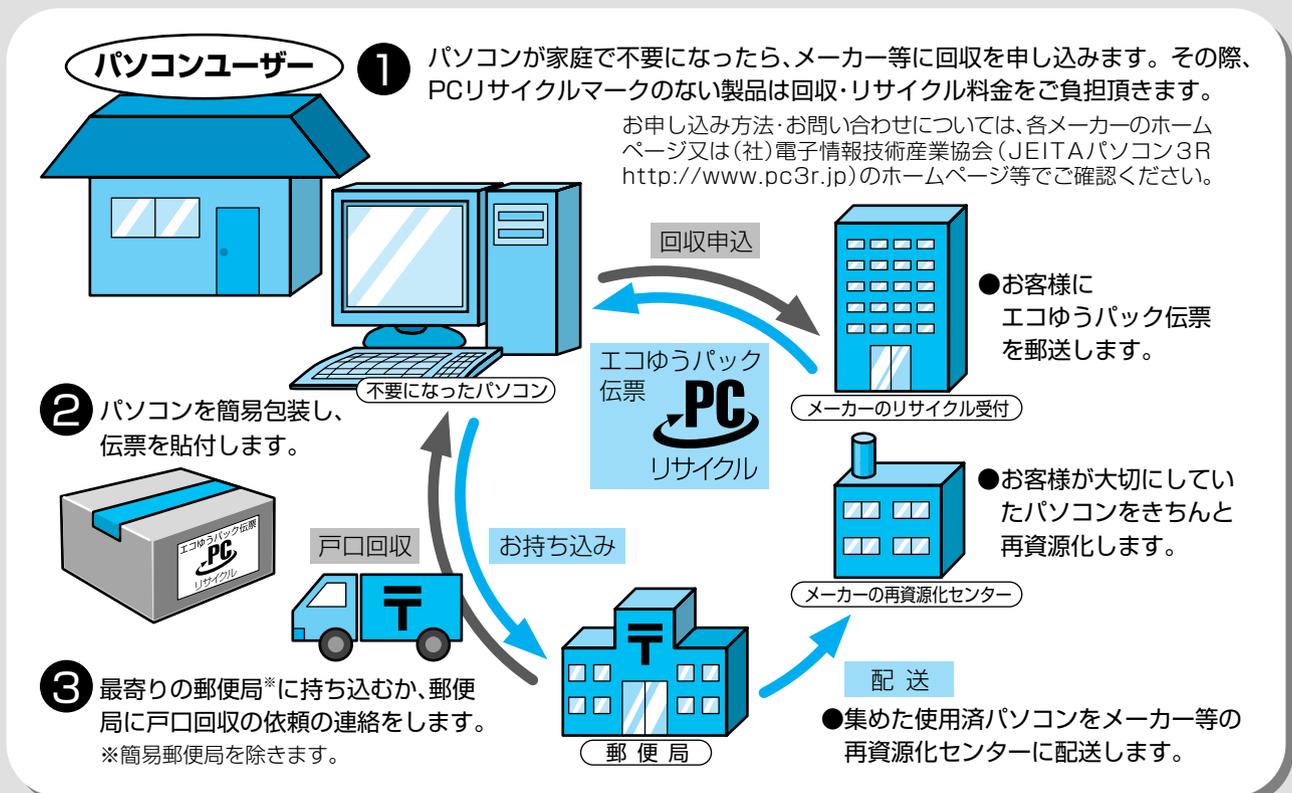
左記の機器が不要になりましたら、 下記のような手順で リサイクルを実施いたします。

- ① パソコンのメーカーに直接回収を申し込みます。
※ “PCリサイクル” 開始前に購入したものは、回収再資源化料金がかかります。
- ② パソコンを簡易梱包し、メーカーから送付されてくる“エコゆうパック伝票”を貼付します。
- ③ 最寄りの郵便局に持ち込むか、郵便局に戸口集荷を依頼します。
- ④ 集められた使用済パソコンは再資源化センターに配送され、再資源化されます。

なお、回収するメーカーがない場合や、メーカーが明らかでない場合は、有限責任中間法人「パソコン3R推進センター」が、有償で回収・再資源化します。

◎問合せ先 ●パソコンメーカー各社
●パソコン3R推進センター
☎03-5282-7685

URL <http://www.pc3r.jp/uketsuke.html>

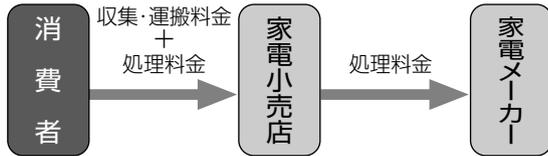


家電リサイクル対象器機に 液晶テレビ・プラズマテレビ、衣類乾燥機 が加わります

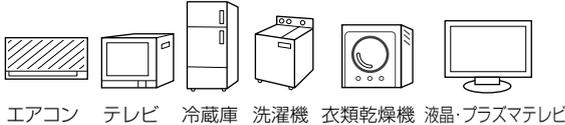


1 対象機器を買換える場合や 購入した小売店がわかっている場合

小売店に引取ってもらいます。その際に、処理料金（リサイクル料金と収集・運搬料金を小売店に支払います。



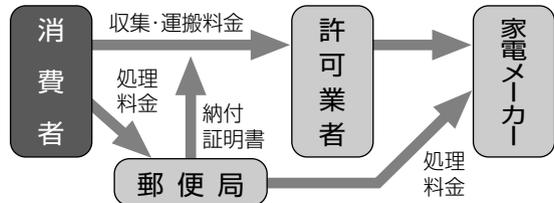
家電リサイクル法の対象機器



2 左記以外(買った小売店が不明、 通信販売で購入など)

壬生町一般廃棄物処理業許可業者（許可業者）に収集・運搬を依頼します。

その際、事前に最寄りの郵便局で処理料金（リサイクル料金）を（財）家電製品協会家電リサイクルセンター（RKC）に振込み、納付証明書を家電製品に添付します。許可業者には、収集・運搬料金のみを支払います。



※許可業者につきましては、[下表](#)に掲載しています。

※エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機を廃棄する場合は

処理料金(リサイクル料金) (消費税込) + 収集運搬料金 が必要となります。

リサイクル料金は清掃センターへ、
収集運搬料金は下記業者へ
お問合せください。

注1 テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・衣類乾燥機をごみステーションには絶対に出さないでください。

注2 テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・衣類乾燥機は、清掃センターでは取り扱いませので、持ち込まないでください。



壬生町一般廃棄物処理業許可業者一覧表 (家電6品目収集運搬業者)

No.	業者名	住所	電話番号	No.	業者名	住所	電話番号	No.	業者名	住所	電話番号
1	株式会社大商	栃木市惣社町 2181	0282(27) 8248	14	有限会社関東実行センター	小山市花垣町 1-12-10	0285(23) 3026	27	有限会社ごみやさん	鹿沼市米町 3-34-9	0289(65) 5221
2	企業組合とちぎ労働福祉事業団	宇都宮市西川田 7-1-2	028(645) 5561	15	宇都宮興産株式会社	宇都宮市陽南 1-2-2	028(658) 5291	28	株式会社真田ジャパン	那須塩原市井口 198-1	0287(36) 1148
3	株式会社安住	壬生町大字壬生 乙3550-1	0282(82) 8566	16	有限会社高久建工	壬生町大字羽生田 1733	0282(82) 9418	29	有限会社坂本商事	栃木市皆川城内町 2989-4	0282(30) 1120
4	相良運輸株式会社	宇都宮市今宮 4-5-36	028(684) 2100	17	エイチエス株式会社	宇都宮市下荒針町3406-4	028(649) 3663	30	三正運輸株式会社	小山市扶桑 1-8-17	0282(82) 4100
5	有限会社大林環境サービス	下野市上古山 8-5	0285(53) 5584	18	有限会社静井商会リサイクル	大平町西水代 2534-1	0282(43) 8788	31	さわやかクリーンサービス株式会社	さくら市上野 159-2	028(681) 6622
6	有限会社マルショー	壬生町大字安塚 1857-1	0282(86) 5443	19	株式会社興央資源総合リサイクル	下野市石橋 693-8	0285(53) 5782	32	有限会社栃北興業	栃木市平柳町 1-5-12	0282(27) 5336
7	栃南産業株式会社	下野市下古山 947	0285(53) 5557	20	野澤総業	宇都宮市下栗町 1459-3	028(656) 1523	33	篠原運送店	壬生町大字藤井 2438-6	0282(82) 7589
8	有限会社ミサキ商事	壬生町大字藤井 1842	0282(82) 1776	21	有限会社セイゴウ	宇都宮市平出工業団地43-120	028(613) 3860	34	関東資源株式会社	真岡市荒町 5218	0285(84) 1161
9	戸崎商店	壬生町大字藤井 1734	0282(82) 2542	22	有限会社アタカサービス	宇都宮市石井町 365-11	028(656) 6250	35	中川商事	宇都宮市石井町 3413-63	028(656) 5586
10	鈴運メンテック株式会社	宇都宮市鶴田町 920-1	028(648) 6241	23	有限会社ファーストコーポレーション	宇都宮市満美穴町25	028(667) 5430	36	株式会社中日産業	壬生町大字安塚 1716	0282(86) 3163
11	程塚商事株式会社	宇都宮市元今泉 3-8-5	028(653) 5282	24	有限会社岸興業	栃木市野中町 1381-11	0282(23) 5212	37			
12	いずみ産業株式会社	宇都宮市下平出町 198-2	028(664) 1115	25	有限会社協栄技研	日光市木和田島 2083-11	0288(26) 2648	38			
13	株式会社目黒商事	宇都宮市上野町 6078-1	028(661) 5827	26	栃木清掃サービス株式会社	栃木市片柳町 2-32-4	0282(25) 1014	39			

◎問合せ先 ●壬生町清掃センター ☎82-3424

ご存じですか

壬生町青少年健全育成実施委員会の取り組み

壬生町青少年健全育成実施委員会は昭和63年5月に設立し、社会を明るくする運動、並びに青少年の非行・被害防止全国強調月間の趣旨に添った活動を展開しており、町民一人ひとりの非行防止・防犯思想の普及活動や青少年を取り巻く有害環境の浄化等を図っています。今後とも、より一層の推進のため、皆様のご協力をお願いいたします。（以下、主な取り組みを掲載します）



自治会や自治公民館において、地域で子どもを育てるうえで何ができるのかを話し合い、青少年に対する理解や社会環境の浄化等を目的とした地域懇談会



イベント会場において、家庭の日や薬物乱用防止、独自に作成したチラシ等での広報啓発活動

上記の他、児童生徒の長期休み時や各種祭り会場周辺等での夜間のパトロール活動、ケータイトラブルを防ぐための「親子学び合い事業」（学校との共催）青少年健全育成標語の表彰、家庭の日の推進、有害図書等の自動販売機や書店等への立入調査などを行っています。

お問い合わせは、壬生町教育委員会事務局生涯学習課社会教育係内

壬生町青少年健全育成実施委員会（☎81-1873）まで

とちぎの子ども育成憲章

明日を担う子どもたちが 夢と希望を持ち
心豊かでたくましく成長することは 県民すべての願いです

わたしたちは 子育てに積極的ににかかわり
子どもたちをみんなで育てていく決意を込め ここに憲章を制定します

わたしたちは

- 1 子どもたち一人ひとりを尊重し 命を大切にします
- 1 子どもたちとのかかわりを深め
思いやりの心をはぐみます
- 1 子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい
社会の一員としての自覚を育てます
- 1 一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します
- 1 とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り
子どもたちに引き継ぎます

平成22年2月9日
栃木県

「とちぎの子ども育成憲章」が制定されました。

次代を担う栃木の子どもの子どもたちが、心豊かでたくましく成長することは県民すべての願いです。しかし、現在、懸念されている家庭や地域の教育力の低下や、ますます希薄になる人とのふれあいやつながりに加え、児童虐待や若年無業者の増加など、子ども・若者を取り巻く環境は年々厳しくなっています。

このような状況において、青少年が心身ともに健全に成長していくためには、親はもとより周りの大人がより積極的に子どもの成長に関わっていく必要があります。

そこで、県では、子どもたちを育成していく上での基本となり、また、大人の責任と自覚を促し、一人ひとりが実行していくための基本理念や行動指針として、「とちぎの子ども育成憲章」を策定し、平成22年2月に制定しました。

ポルノ雑誌・ビデオ・DVD等の自動販売機設置には

「土地を貸さない」

【壬生町内設置状況】

雑誌・ビデオ等自動販売機(4カ所)…… 15台
その他用品等…………… 3台

「置かせない」

悪質な業者にだまされないよう注意しましょう。

ポルノ雑誌や低俗な成人向けビデオ・DVDなどは、未熟な子どもたちに悪い影響を及ぼし、非行へとすすむ大きな原因となっています。

栃木県青少年健全育成条例も自動販売機設置に対する罰則が強化され、壬生町においても青少年をとりまく社会環境の浄化に取り組んでいます。

さらに、青少年の非行が大人社会の反映であることを思い、その責任を自覚し、まず自らの姿勢を正し、青少年を正しく導くため、環境浄化運動を展開しています。皆様のご協力をお願いいたします。

環境浄化運動

1. ポルノ雑誌、アダルトビデオ・DVD、有害玩具の自動販売機業者には「土地を貸さない」

自動販売機の設置には、何を販売するのかを確かめ契約してください。ポルノ雑誌やアダルトビデオ・DVDの販売機設置には青少年の影響が大きいので、土地の提供をしないようにご協力ください。

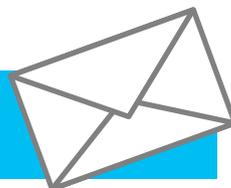
2. 青少年の健全育成を阻害する恐れのあるポルノ雑誌、アダルトビデオ・DVD等を「見ない、見せない、見させない」

おとな自身が有害図書等の不買を実践し、ポルノ雑誌等の悪書や低俗なビデオ・DVD、有害玩具を追放する強い意志と姿勢を示しましょう。

壬生町青少年健全育成実施委員会・壬生町青少年育成指導員会



税務署からのお知らせ



相続又は贈与等に係る生命保険契約や損害保険契約等に基づく年金の税務上の取扱いの変更について

この度、遺族の方が年金として受給する生命保険金のうち、相続税の課税対象となった部分については、所得税の課税対象にならないとする最高裁判所の判決がありました。そこで、このような年金に係る税務上の取扱いを改めることとしましたので、お知らせします。これにより、平成17年分から平成21年分までの各年分について所得税が納めすぎとなっている方につきましては、その納めすぎとなっている所得税が還付となります。

お手数をお掛けしますが、必要なお手続き（更生の請求又は確定申告など）をしていただけますようお願いいたします。

この取扱いの変更の対象となる方や所得税の還付のお手続きについては、国税庁ホームページ【<http://www.nta.go.jp>】をご覧ください。最寄りの税務署にお問い合わせください。



※平成17年分について、早い方は平成22年12月末が還付できる期限となりますのでお早目のお手続きをお願いします。

※受け取られた年金の受給権が相続税や贈与税の課税対象となる場合は、実際に相続税や贈与税の納税額が生じなかった方も対象となります。

役場前蘭学通り沿いの 休憩室の活用について



平成22年7月2日開通の 役場前道路（町道3-550号線）の整備にあわせて休憩施設を設置し、休憩室の愛称を「^{じせい}自成館」といたしました。開通以来多数の皆様にご利用いただいております。

愛称の「^{じせい}自成」とは、中国・前漢時代の歴史家である^{しばせん}司馬遷の『^{しき}史記』「^{りしやうぐん}李將軍伝賛」の中で、^{りこう}將軍李広の人物について述べるために引用された ^{ことわざ} 諺

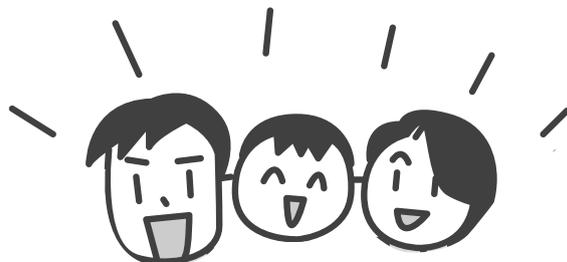
「^{とうり}桃李不言下自成蹊」（^{とうり}桃李もの言わざれども、^{した}下おのずから^{みち}蹊を^な成す）
からとったもので、^{みぶ}壬生藩の^{えど}江戸藩邸にあった^{はんこう}藩校「^{せいどう}自成堂」にちなんで付けられました。

自成館の銘板の文字（右下写真）は、壬生中学校3年の^{おおがき}大垣めぐみさんによるものです。

この休憩室では、管理をお願いしている蘭学通り仲通町商店会のご協力を得て、作品の展示（各保育園児の絵画や団体等の写真）、論語教室等が催されております。

今後とも、皆様の積極的なご活用により、にぎわいの創生にご協力ください。

問合せ先：町建設部建設課 ☎81-1849



自成館の銘板と大垣めぐみさん

羽生田小学校 北研 出前授業 キノコの栽培体験

10月22日、羽生田小学校で町内に本社を構えるキノコ製造大手の(株)北研(代表取締役社長内堀俊幸氏)の協力を受けて、キノコ栽培の体験教室を実施しました。

始めにキノコの栄養素やキノコがどのように生長するかを勉強した後、キノコに関する楽しいクイズをしたり、シイタケを育てる原木やたくさんシイタケが育った菌床の観察を行いました。

キノコについて楽しく学んだ後は、一人一個シイタケの菌床をもらって、シイタケの栽培に



挑戦しました。北研の方からの指導の下、菌床を袋から出して、栽培用のプラスチックトレイに移し替えていきました。低学年の子ど



もたちは大きな菌床を袋から出すのも一苦労でしたが、上級生に手伝ってもらい、無事に移し替えることができました。

壬生町町議会議員が藤井小の学校給食を視察

10月25日、藤井小学校で壬生町議会議員の皆さんが、学校給食と食育の現状を視察しました。

これは、栃木県が今年10月に実施した「とちぎ食育推進月間」にあわせて、町教育委員会が進めている食育と学校給食の現状を見てもらおうと企画されたもので、町議会議員や町教育委員等約25名の方が参加しました。

始めに3年生の栄養素の種類と好き嫌いしないことの大切さについての食育授業の様子を視察した後、ランチルームで児童と



一緒に給食を試食しました。ここでは、普段藤井小で出している自校炊飯のご飯と他の学校で出されている委託炊飯のご飯との食べ比べも行われました。



給食の後は、図書室で壬生町の食育と学校給食の現状について、講話を受けた後、今後の食育と学校給食のあり方について、意見を交換しました。

藤井小 ひとみ座 乙女文楽上演会

10月23日、藤井小学校体育館で川崎市に拠点を置く人形劇団「ひとみ座乙女文楽」の方々による乙女文楽の上演が行われました。

これは文化庁主催の事業である「子どものための優れた舞台芸術体験事業」により、優れた舞台芸術を体験したり、一流の芸術家による講話や実技指導などを受けることにより、子どもたちの豊かな情操やコミュニケーション能力を養うことを目的として行われたものです。

乙女文楽とは、一般的な文楽は3人で1体の人形を扱うところを、女性の使い手が一人で二人羽織のような要領で扱い、物語を演じるもので、今回は文楽



の代表的な演目である「傾城阿波鳴門」と「増補大江山酒呑童子」の2作が上演されました。このほか、ひとみ座の方の指導を受けた藤井小の児童4名により、能や歌舞伎などでも舞われる伝統的な舞踊の「三番叟」が舞われ、練習の成果に観客も見入っていました。





「第2回なめがた狂歌」入賞

9月19日、元町にお住まいの松嶋敬子さんが、行方市教育委員会主催の「第2回なめがた狂歌」において、入賞作品120首の中から最高賞の茨城県知事賞を受賞しました。

行方市では、平成20年度「第23回国民文化祭・いばらき2008」開催を契機に、江戸時代に麻生藩士の間で楽しまれていた狂歌を文芸復興と題し「なめがた狂歌」として現代の感覚で新たに蘇らせるべく、狂歌大会を開催し、文化活動の活性化を図っています。

松嶋さんは、俳句・川柳を長年たしなんでいます。狂歌は今回初めての応募で、見事に入賞しました。ご本人はもちろん、ご家族は大変喜んでいらっしゃいます。今後のさらなるご活躍を願います。

田んぼの周りの生きもの調査

9月25日に羽生田地区の夢・はにしの里協議会（杉山恵一会長）、10月3日に下稲葉地区の下稲葉・水と緑を守る会（赤木和男会長）がそれぞれ生きもの調査を行いました。

この活動は、地域の環境に対する意識の向上を目的として行われるもので、今年2回目となる今回の調査も、地元の小学生など地域の様々な人たちが参加して行われました。

残暑も収まり秋の気配が近づく中、子どもたちは水路に入り、泥だらけになりながら生き物を探しました。今回は、羽生田地区ではオオクチバスやウグイ、フナ、下稲葉地区ではナマズやヨシノボリ、ミズカマキリ、タガメといった珍しい生き物がみつけられました。

調査の後は、捕まえた生き物について、アドバイザーの稲葉小校長の櫻井正美先生から説明を受け、生き物の生態と地域の環境について勉強しました。



(写真 上：下稲葉地区、下：羽生田地区)

「おもちゃ団地チャリティーバザール」を撮影・放送します！

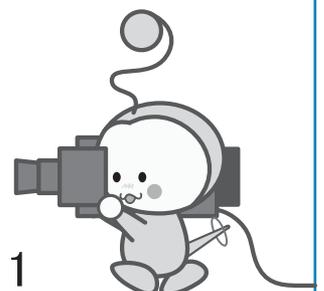
撮影日：12月11日(土)

放送日：12月13日(月)～12月19日(日)

「CC9ニュース」にて放送予定です！ぜひご覧下さい。

※放送の予定は予告なく変更することがあります。予めご了承ください

栃木ケーブルテレビ お問い合わせはこちら
TEL:0282-25-1811





足尾鉍毒の実態を改めて学ぶ

老人クラブ安塚中央銀の会（阿部昌行会長）では、9月29日に研修旅行を実施しました。

公害の原点といわれる足尾町を訪れ、環境学習センターで町の発展から衰退への状況、鉍毒による環境破壊の実情などを研修した後、今なお植樹や土砂崩れ防止の作業をする現場、坑道などを見学して、足尾鉍毒の実態について改めて学び認識を深めました。

田母沢御用邸祈念公園や日光などを見学した有意義な研修旅行に、30名の参加者たちは、会の企画に感謝しながら、「来年の研修も楽しみです。」と話していました。

人権擁護委員に わたなべこうき 渡邊光喜氏が再委嘱される

渡邊光喜氏（上新町）が、平成22年10月1日付けで法務大臣から人権擁護委員に再委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんの人権に関する悩みごとなどの相談に応じるほか、街頭啓発活動や小・中学生を対象にした人権講話・ビデオフォーラムなどを通して、人権の大切さについての理解を深めてもらうなど人権意識の高揚にも努めています。



※壬生町の老人クラブには、60歳以上であればどなたでも入会できます。
詳しくは、町老人クラブ連合会事務局
(町社会福祉協議会事務局) ☎82-7899まで

老人クラブスポーツ大会開催

10月7日、町総合運動場において、秋晴れの下、壬生町老人クラブ連合会（橋本佐一会長）主催による第33回スポーツ大会が開催されました。これは、延べ参加者数約1200人の高齢者による町最大のスポーツ大会で、小菅町長や細井町議会議長の来賓あいさつの後、梁島安男さん（稲葉地区代表）の力強い選手宣誓で競技が始まりました。

競技は高齢者向けの趣向を凝らした内容となっており、また今年にはメリーランド保育園から園児81名も競技に参加し、昼休みには「創作祭り太鼓」を披露しました。応援席からは大きな拍手と歓声が秋空に響いていました。

《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務
- 農業集落排水処理施設各処理場巡回管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-1-32-102

広告募集

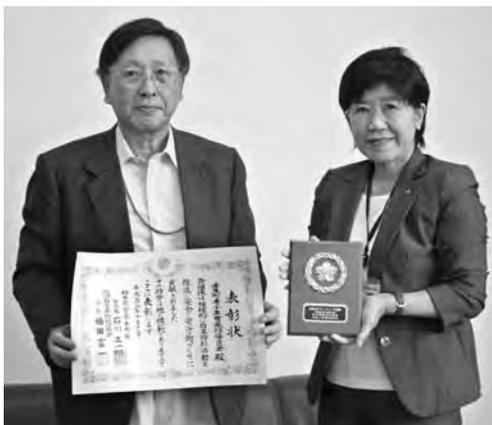
「広報みぶ」に、お店や会社のPR、事業やイベントの宣伝など、町民の暮らしに役立つ広告を有料で掲載しませんか？

「広報みぶ」は壬生町民の皆さんに広く親しまれており、広告を掲載するには最適なメディアです。ぜひご活用ください。町ホームページへのバナー広告掲載も随時募集しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

◎問合せ先 ●町総務部企画財政課情報広報係 ☎81-1814



地域安全県民のつどい



水井正成さんと落合教育長

10月12日、宇都宮市文化会館において、栃木県警察本部と栃木県防犯協会主催による「第35回地域安全県民のつどい」が開催されました。安全活動に長年貢献した防犯功労者や防犯パトロール隊などの団体の他、防犯ポスターと地域安全マップに入選した児童生徒が表彰されました。壬生町からも7名の方が功績を認められ表彰を受けました。

防犯連絡所 越路初一さん・関本房次さん

青少年育成指導員会 会長 水井正成さん

優良少年指導委員 糸川秀夫さん

功労ボランティア団体

駅東自治会防犯保全部 代表 山本忠男さん

安塚中央自治会防犯パトロール隊 代表 安生勝英さん

小学校の部 防犯ポスター銀賞 壬生北小5年 森田実希さん

石橋地区消火競技大会 壬生町女性防火クラブ2・3位入賞

10月13日、下野市南河内野球場尼寺グラウンドで、石橋地区危険物保安協会・石橋地区女性防火クラブ連絡協議会の共催による、第34回消火競技大会が行われました。

この大会は消火器による消火技術を競う大会で、壬生町・下野市・上三川町の三地区の代表者70人が参加し、女性防火クラブの部において壬生町女性防火クラブCチーム（指揮者：岡田幸子、消火者：須藤由美）が第2位に、壬生町女性防火クラブBチーム（指揮者：阿久津洋子、消火者：大橋和枝）が第3位に入賞しました。



大きく育ったさつまいも

10月14日、稲葉小学校の2年生といなば保育園の子どもたちは、「なかよし農園」（三上貞次さん所有）において、いっしょにさつまいもの収穫を行いました。

6月に苗植えをしたさつまいもは大きく育ち、子どもたちの顔と同じくらいの大きさのものもありました。

いなば花と緑の郷づくり協議会（伊藤充哉会長）の方々の協力の下、たくさんのさつまいもを収穫でき、子どもたちは大はしゃぎでした。

収穫したさつまいもは、焼き芋にしてもらいおいしくいただきました。

安全・安心の架け橋へ 地域安全グラウンドゴルフ

10月14日、壬生町総合運動場南グラウンドにおいて、地域安全グラウンドゴルフ大会が開催されました。これは、高齢者を対象とした犯罪や交通事故が増加している昨今において、地域安全・防犯意識の高揚を目的に開催したもので、約90名が参加しました。

地域の安全は地域の人間が創り上げるという趣旨のもと、まず、グラウンドゴルフをして交流を深めた後に、栃木警察署の生活安全課長と交通総務係長から振り込め詐欺や高齢者の交通安全等についての講話を受け、地域の安全安心への関心を高める契機となりました。



慰 霊 祭



10月16日、東雲公園の北側にある慰霊碑前にて「壬生町戦没者並びに消防殉職者合同慰霊祭」が執り行われました。

この慰霊碑には、戊辰の役以来先の大戦に至るまでの戦没者の方々、そして消防活動にて殉職されました方々のお名前が刻まれています。

式典は、黙禱に始まり、町長の式辞、遺族会長・消防団長など来賓の方の追悼の辞の後、参列者全員による献花が行われました。さわやかな秋晴れに恵まれて、たくさんの遺族の方々も参列されました。

下水道普及啓発ポスター 2名が表彰

10月16日「第16回巴波川流域下水道フェスティバル」において、下水道普及啓発ポスター入賞者の表彰式が行われました。

栃木市・西方町・壬生町の小学4年生の多数の応募作品の中から、

巴波川流域下水道促進協議会会長賞に壬生小学校4年花塚詩音はなつかしおんさんが、（財）栃木県建設総合技術センター理事長賞に、壬生北小学校4年藤栄友里絵とうえいゆりえさんが選ばれ、表彰されました。



花塚詩音さん



藤栄友里絵さん



さつまいもほり体験

10月19日、壬生寺保育園（渡邊光喜わたなべこうき園長）の園児たちが壬生甲の白石公男しらいしまさおさんの畑で、さつまいもほりを体験しました。

土の中のさつまいもを一生懸命掘り出し、大きなさつまいも、長いさつまいもがたくさん出てくると、あちらこちらから子どもたちの喜びの大きな歓声が上がりました。

保育園に帰って調理の先生に、さつまいもち、ふかしいも、大学いもを作ってもらい、給食やおやつの時間においしくいただきました。今度は焼きいもパーティーを行う予定で、子どもたちは今からとても楽しみにしているそうです。

農業施策・平成23年度予算に関する要望書を提出

壬生町農業委員会（松井晴夫まついはるお会長）は、10月20日、町長室を訪れ、壬生町農業施策並びに平成23年度予算に関する要望書を提出しました。

農業委員会では、農業者が夢と希望を持って意欲的・積極的に農業生産と地域の活性化に取り組めるよう、農業機械や施設に対する「みぶ・アグリチャレンジャー支援事業」等の町単独助成など、9項目について要望しました。

また、町並びに町教育委員会に対し、学校給食でのさらなる米飯給食の回数増加や、米粉パンの使用、地域の野菜等を使用した「地産地消」の推進を要請しました。



の広場



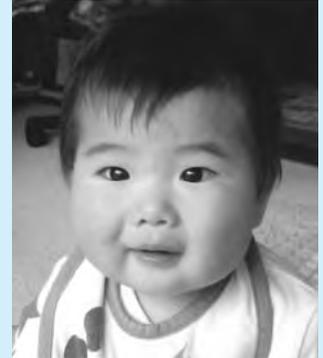
さかたらいお
坂田来皇ちゃん
(H21.11.14生)
(下馬木)



えびはらこうおろう
海老原幸太郎ちゃん
(H18.11.13生)
(県営壬生住宅)



こくほなの
小久保南希ちゃん
(H21.11.4生)
(万町)



ながいほやせ
永井颯星ちゃん
(H21.11.3生)
(中表町)



なかもらはな
中村花ちゃん
(H18.11.30生)
(幸町一丁目)



みなこしゆうた
船越悠太ちゃん
(H21.11.22生)
(仲通町)



きむらゆうと
木村優都ちゃん
(H21.11.21生)
(北小林)

この小学校での「素地」が中学校の「基礎」へとつながっていきます。

そこで、壬生町では、小学校英語活動と中学校英語科の授業が、ますます魅力のある充実したものとなることを目指し

- ① 言語や文化に対する体験的理解
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
- ③ 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ

小学校英語活動の目標は、「コミュニケーション能力の素地」を養うことで、次の三つが柱となります。

① 言語や文化に対する体験的理解
② 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
③ 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ

この小学校での「素地」が中学校の「基礎」へとつながっていきます。

そこで、壬生町では、小学校英語活動と中学校英語科の授業が、ますます魅力のある充実したものとなることを目指し

Q : Where is the panda ?
A : Panda ? Turn right.



電子黒板機能付きデジタルテレビを使った英語活動授業

て、準備を進めています。

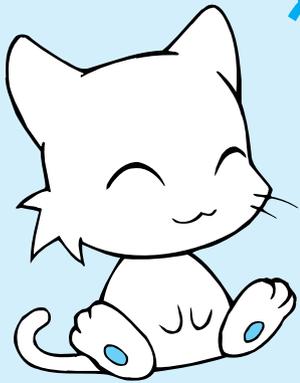
まず、本物の生きた英語に触れるため、ALTを2名から3名に増員したり、英語の堪能な地域の方々の協力をお願いしたりしています。また、電子黒板など視聴覚教材の充実を図っています。

明日を担う壬生町の子どもたちが、日本語とともに外国語を駆使して、世界で活躍する姿を思い描きながら取り組んでいきます。

第7回「英語でコミュニケーション」

教育・文化・スポーツの振興に取り組む
こんどちは！壬生町教育委員会です！

みんな



わが家のアイドル



中川美翔ちゃん (H18.6.9生)
陽翔ちゃん (H21.11.27生)
(ひばりヶ丘)



高橋颯姫ちゃん (H19.11.27生)
騎士ちゃん (H22.1.11生)
(落合)

今回は1月生まれのアイドルを募集します。(締切12月20日)写真はお返します。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接又は郵便で〒321-0292 壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

Eメールの場合は上記必要事項を記入し、企画財政課情報広報係宛 (info@town.mibu.tochigi.jp) へメールしてください。



阿部さやかちゃん (H16.10.9生)
琢巳ちゃん (H20.11.26生)
(安塚中央)



皆川陽晴ちゃん (H19.11.10生)
愛海ちゃん (H21.7.18生)
(落合)

歴史民俗資料館だより

発掘された遺跡シリーズ (15)

『しもつけ古墳群』とは？

今回からは平成23年2月5日から3月13日まで開催される、資料館企画展「しもつけ古墳群」についてご紹介します。

現在の黒川、思川、姿川、そして田川流域においては古墳時代後期における大型の古墳が代々築かれる地域が見られます。黒川では壬生の羽生田地区(茶臼山古墳など)と旧壬生地区(車塚古墳など)、思川では旧国分寺地区(丸塚古墳など)において、6世紀後半代から7世紀前半代にかけての有力者の古墳が築かれます。

そしてこれら古墳には、三つの同じ特徴をもっていることが判ってきました。一つは基壇といわれる広い平坦面を墳丘の周囲にもっている、二つ目は石室を巨大な切り石で造られている、そして三つ目が前方後円墳においては、前方部に石室を築く、などです。

このような造り方をする古墳が、上記の流域では確認されているこ

とから、これら同じ共通性をもつ古墳の集まりを「しもつけ古墳群」と呼び、各流域での古墳を紹介するとともに、一定の地域にこれだけの同時期の古墳群が存在するのは全国的にも稀であることを、一般の方に知っていただくために本企画展を開催します。



巨大な自然石の一枚石で造られた「吾妻古墳石室」

問合せ先

歴史民俗資料館
☎ 82-8544

ワールドカップでも大活躍！ 国際審判員の相樂氏が来庁

10月12日、今年6月のサッカーワールドカップ南アフリカ大会で開幕戦の副審、決勝戦の予備審判等として活躍した、国際審判員の相樂亨（さかろしむね）さんが来庁されました。

現在矢板市在住の相樂さんは、壬生町出身で壬生中学校を卒業後、県立宇都宮北高校を経て東洋大学に入学し、大学在学中に審判員の資格を取得しました。大学卒業後は、矢板市内の金融機関で働きながら審判員を続け、2007年より国際審判員、2009年からはJFAプロフェッショナルレフェリーとして国内外で活躍されています。

今回の来庁は、相樂さんが壬生町出身であることから実現したもので、とおりまち保育園の子どもたちから町民の歌と花束で歓迎を受けた後、ワールドカップでのエピソードや国際審判員になるまでの苦労などについて講話をしていただきました。そのほか、ワールドカップ決勝戦のレフェリーに送られるメダルや各国の選手から贈られたユニフォームなど、貴重な品も見せていただき、子どもたちは大喜びでした。



ファミリーランド21壬生店さん マスクを寄附

10月29日、ファミリーランド21壬生店(取締役社長須藤盛夫氏)様から、代表して店長が町長室を訪れ、町の感染症予防対策に活用して欲しいと、マスク200箱(1万枚)の寄附をいただきました。



ファミリーランド21壬生店店長と小菅町長



絵画「花のある風景」



壬生小5年
わたなべ みなみ
渡邊 南美



表紙の写真
第9回みぶ蘭学通りまつり。
蘭学通りに人力車が出現！訪れた人々は、
レトロな町並みを満喫していました。

12月の納税等

- 固定資産税・都市計画税 (3期)
 - 国民健康保険税 (6期)
 - 介護保険料 (6期)
 - 後期高齢者医療保険料 (6期)
- 納期限 12月27日



壬生小5年
こじま るお
小島 綾人



絵画「花のある風景」

